

鶴田町学力向上推進委員会 家庭学習新聞

2013(平成25)年

7月18日

木曜日

- ▶中野教育長に聞く 1面
- ▶鶴小・鶴中の情報 2面
- ▶水小・菖小の情報 3面
- ▶つるパパのつぶやき 4面



鶴田町学力向上推進委員会 問い合わせ先 鶴田町教育委員会 学務総務班 TEL 0173-22-2111

中野教育長に聞く

家庭学習は生活習慣の安定から



中野 雄臣 教育長

家庭学習を習慣化させようというこの課題は、正しい廊下歩行の仕方と同じで、この小中学校でも取り組んでいることだと思いますが、なかなか定着までは至っておりません。

やはり生活習慣にも一因があるのではないのでしょうか。そこで、就寝と起床時刻を守り、朝食をしっかりと取る、この「早寝早起き朝ごはん」の三つのサイクルだけでも確立すると、一日の生活が安定します。

しかし、部活動があるからといって、寝る時刻が遅くなったり、その延長線上

に、朝ごはんを食べないようになつたりしては困ります。元気がなくなってしまうからです。

まず、「早寝早起き朝ごはん」という生活習慣を大切にしなが、帰宅時刻を決め、そして夜眠るまでの時間の行動を書き出してみることです。その中から、食事や入浴などの時間を引くと、残り時間はそう多くないはず。

時間があまり多くないという自覚を持ち、まずやらなければならぬ学習をしっかりやることを大切にしたいです。そうすることによって、学習に集中でき短時間でも大きな成果を得ることができるようになります。

このように、自分の生活を自分の意思で習慣づけ、正しい生活習慣を身につけることによって元気な状態が保たれ、部活動との両立が可能になると思います。

こうすることによって、学校でも脳の働きがよくなるため、授業がわかり楽しくなります。家庭に帰ってからも勉強する時刻が決まっているので必然と机に向かうようになり、習慣化が図れるようになります。

学習の内容については、一昨年に学力向上推進委員会で作成した「家庭学習の手引き」実践編や、各学校・学級で紹介している児童生徒の取り組み等を参考にしたいだけだと思います。

終わりに、ご家族の協力のもと、児童生徒の家庭学習が習慣化することを期待しています。

文部科学大臣賞受賞記念

鶴田町食育フォーラム

H25. 8. 1 国際交流会館・豊明館

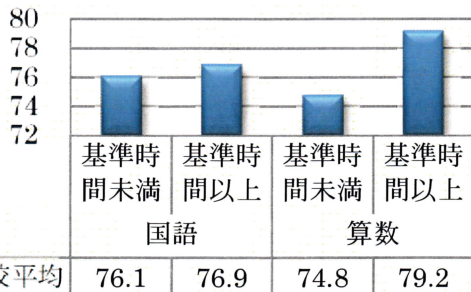
「つるりん」と一緒に「食」を学ぼう



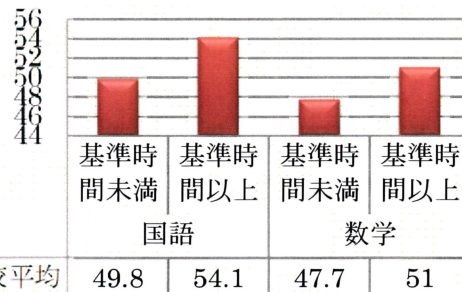
当日は、ゆるキャラ大集合! ◎やなせたかしクイズやカルタ大会もあるよ!!

鶴田町でアンケート調査を行った結果、家庭学習をする時間が長い人ほど学力は高いという結果がでました。

家庭学習の時間と平均点の関係



家庭学習の時間と平均偏差値の関係



※1・2年生は20分、3〜6年生は(学年)×10分を基準にしています。

※60分を基準にしています。

鶴田町学力向上推進委員会
平成二十二年十一月調査

家庭学習 NOW!

町内小・中学校での家庭学習への取り組みを紹介します。今回は鶴田小学校・鶴田中学校・水元中央小学校・菖蒲川小学校です。その他の学校は次号で紹介します。

鶴田小学校

鶴田小学校では、学年ごとにめあてをもって家庭学習に取り組んでいます。

【家庭学習5つのポイント】

- ① 時間を決めて毎日続けよう
- ② 「ながら勉強」はやめよう
- ③ ていねいに書こう
- ④ 分からない時は教科書などで調べよう
- ⑤ 家の人にもてらおう

【学年ごとの家庭学習のめあて】

〈低学年〉

「家庭学習5つのポイント」を守って、宿題をしっかりと行う。

〈中学年〉

「家庭学習5つのポイント」を守って、進んで一人勉強に取り組む。

〈高学年〉

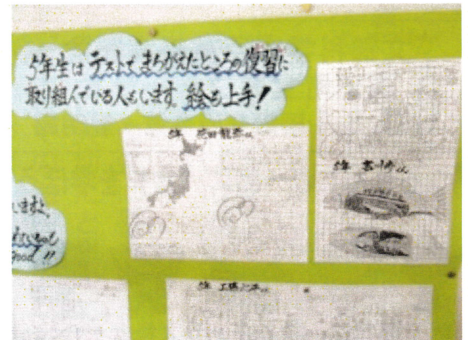
「家庭学習5つのポイント」を守って、計画的に一人勉強に取り組む。



廊下に各学年の家庭学習ノートを紹介しています。

一人勉強が始まる三年生は、「鶴田町家庭学習の手引き」を参考にしながら取り組んでいます。
また、各学級でがんばっている児童の一人勉強を学級通信で紹介するだけでなく、全校級での取り組みの様子を児童玄関に掲示しています。これらを参考にし

て、内容やノートの使い方工夫する児童が増えてきました。この全校掲示は定期的に貼り替え、頑張っている児童をどんどん紹介していく予定です。

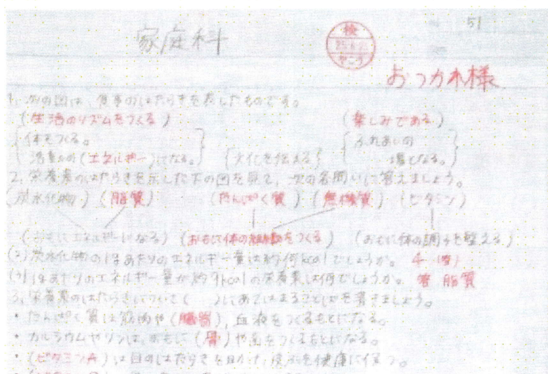


どんなところがいいのかコメント入り!

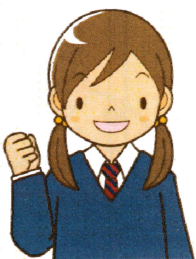
鶴田中学校

家庭学習ノート紹介

中学校になると、家庭学習のノートも字が小さくなってページいっぱい書くようになります。部活もあり大変ですが、みんな頑張っています。



先生の一言コメントがうれしい!



水元中央小学校

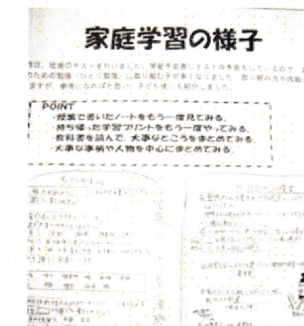
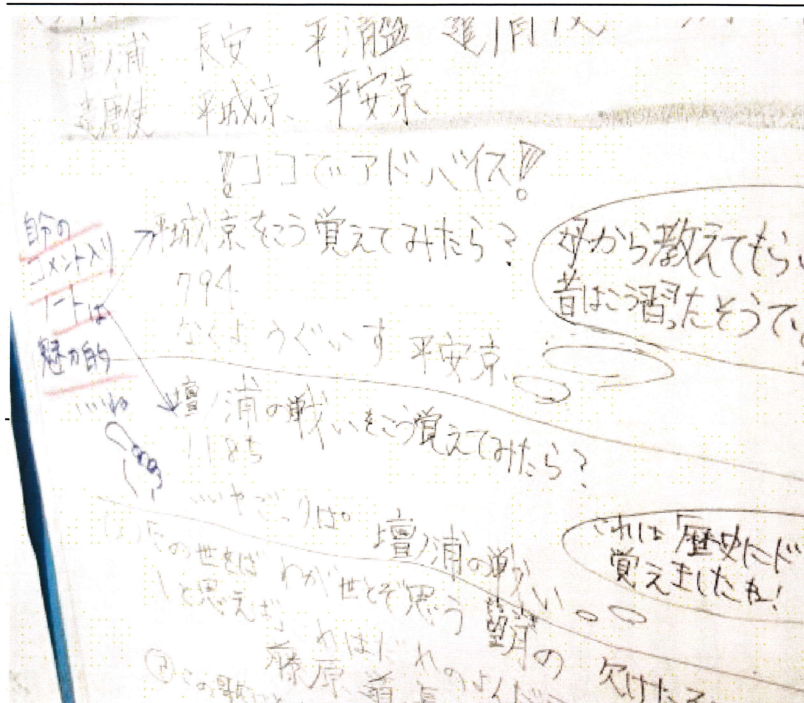
水元中央小の家庭学習の取り組みから



全校のみんなにノートを紹介しています。

本校では、学習習慣の形成と家庭学習の充実のために、次の四つに重点を置いて取り組んでいます。

- ・家庭での学習習慣の形成を図る。
- ・学年相当のめやすとなる時間を確認し、定着を図る。
- ・学年ごとの家庭学習の内容方針を作成し、具体的実践を行う。
- ・個々の学力に応じた学習内容を工夫する。

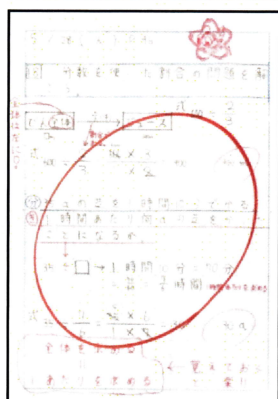


学級通信でも紹介しています。

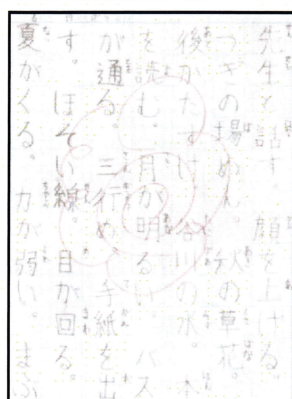
学年の家庭学習のめやす

1～2学年	1日	10～20分程度
3～4学年	1日	30～40分程度
5～6学年	1日	50～60分程度

この子のノートは、お家の人の協力もあって、とても効果的に学習ができているようです。先生のコメントのとおり「魅力的」なノートですね！



☆ 高学年（六年生）のノートより



☆ 低学年（二年生）のノートより

「チャレンジ菖蒲っ子・家庭学習で学力アップ」より抜粋

子どもたちの学力を高めるには、家庭と学校とが共通の認識をもつことが大切です。

菖蒲川小学校

チャレンジ菖蒲っ子
家庭学習で学力アップ！



家庭学習をがんばっている子どもたちのノートを、掲示板で紹介しています。

家庭学習の習慣化は、自ら進んで学ぶ態度を育てます。

家庭学習は、困難に打ち勝つ意志の強さや自己管理能力を育てます。

家庭学習の時間のめやすは、学年×10分です。

つるパパのつぶやき

「家庭学習とは

習慣を身につけさせること」

梅沢小PTA会長

鈴木 秀樹

宿題とは、【学校の正規の授業時間以外に、主として家庭で行うように、教師によって生徒に課される学習】とあります。

私は、学校での授業の不足がちである復習学習+αが先生からの宿題だと思っています。家庭学習とは、家庭での場という環境のもとで「学習習慣を身につけさせる。」ことであると思っていますが、しつけとは違ったものだと思います。

私は、学校の授業で十分だと思っと思っていますので、特別なことを押しつけようとも思っいません。しかし、先生から課された宿題やひとり勉強・音読などは、子どもの義務であると思っています。

また、宿題でもひとり勉強でも、わからない部分があればヒントを与えて考えさせて

いますが、基本的に分からない部分は、教科書やノートを見直すか、どうしても分からない部分は学校に行って先生に聞きなさい！と言っています。その「先生に聞くという行動」が必要だと思います。子どもが自ら先生に聞くという行動を繰り返すことができれば、学習への意識・意欲の向上につながると思います。

私が、小さい頃は、暗くなるまで野球など外で遊んでいた記憶がありませんし、宿題は夏休みや冬休みにやった記憶しかありません。今の子どもたちは昔にくらべて大変だなくと感じています。

三十年前にくらべると、百四十時間の授業時間が減少されていることも、学校・家庭学習の色々な面に響いているのではないのでしょうか。

私は家庭学習の手引き・実践編の三八、四五ページにあるワンポイントアドバイス「筆算のあとに残しておきましょう」を参考にし、なぜ間違っていたのか確認させるた

め、間違いを残しておくよう子どもに言っています。

「ほめてのばす」

富士見小PTA会長

長内 勝靖

私が幼少の頃は遊びに忙しく、学校から帰ってくるというランドセルを置いてすぐ遊びに出かけていました。そして家に帰ると怖い顔をした母と、宿題が待っていました。

「まだ宿題やねんで遊びに行って！はやく宿題やれ！」これがほぼ毎日母に言われる言葉でした。

そんなある日、たまたま遊ぶ友だちが見つからず、やる事がなくて仕方なく宿題をやっていました。母が帰ってきたら、びっくりした顔をしたら後に笑顔で、

「すっごいなあ、よく宿題やつてらな」

とほめてくれました。そのときがすごく嬉しくてそれから遊びに行く前に宿題をやるようになります。もっとほめられたくてひとり勉強もやるようになります。人は誰でも、ほめられるこ

とが大好きだと思っています。一度ほめられると、次はもっと頑張ってもっとほめてもらおうと思う、と私は思います。ですから、私の子どもにも、頑張ったらほめることにしています。

私は、勉強は夢を実現させるために大切だと思っています。学校での勉強も大切ですが、家庭学習も大切です。家庭学習の頑張り次第で学力向上につながり、夢に少しでも近づくことができる！と、子どもに話しています。

家庭学習の手引き・実践編では、どのページというよりも、各ページにある、ワンポイントアドバイスがとてもいいと思います。子どもに勉強を教えるときにすごく参考になります。

「家庭学習のあり方」

鶴田中PTA会長

棟方 博之

私が幼少の頃は、今の子ども達に比べ、宿題が少なかつたように思います。また、今思えば家庭学習での勉強のやり方、進め方が分かっていな

かったと思います。

今、親となり、子どもの学習を見守っていますが、私がそうだったように子どもも勉強のやり方、進め方が分からずにいるように思います。

そこで我が家では、鶴田町学力向上推進委員会が発行している家庭学習の手引き・実践編を参考にしてみました。まず初めに、基本的な生活習慣の確立と、早寝早起き、食事の生活リズムの向上を目指しました。

また、勉強のやり方、進め方についても、家庭学習の手引きの最後のページにある、学力向上のための保護者へのワンポイントアドバイス「家庭を学びの環境にするための五つの心がけ」の中にある、「保護者自身が教育への関心を持つ」

「子どもの家庭学習への関わりを持つ」

等を実行することで、子どもの勉強のやり方も変わってきたと思います。

